

## 5-03 安全・安心な都市機能

<b>視 点</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●市民の生命・財産を守るため、インフラの老朽化対策、事前防災・減災を推進し、安全・安心な道路ネットワークを形成すること</li> <li>●市民の生命・財産を洪水から守るための河川・ダムが整備・管理され、市民が安心して暮らせるまちにすること</li> <li>●災害時における市の防災活動及び行政機能拠点を維持・向上させること</li> </ul>
------------	---

### 5-03-01 道路・橋りょう

#### 5年後の目指す姿

- 幹線道路のネットワークの整備が進み、都市機能が向上しています。
- 既存橋りょうの長寿命化及び道路付属物等の老朽化による利用者被害を防止するため、点検診断に基づく補修・改修整備を進めています。

#### 現 状 と 課 題

- 高規格幹線道路は大和田 IC～留萌 IC間の早期完成が期待されています。
- 幹線道路は道道留萌小平線、見晴通(道道浜中元川線)の早期完成が期待されています。
- 今後急速に増大する老朽化橋りょうを計画的・効率的に保全し、可能な限りコスト縮減するために橋梁長寿命化修繕計画に基づき、定期点検による橋りょう状態の把握、予防保全型の維持修繕を行う必要があります。
- 道路照明等道路付属物の老朽化による利用者被害を防止する観点から、点検診断に基づく補修・更新整備を行う必要があります。

#### 前 期 の 方 向 性

- 幹線道路の整備促進要望を、それぞれ国及び北海道に要望していきます。
- 橋梁長寿命化修繕計画に基づき、計画的に補修・改修整備を推進していきます。
- 道路ストック点検結果に基づき、道路照明を計画的に補修・更新整備を推進していきます。

#### 数 値 目 標

※現状：H27

指 標 項 目	現状	H29	H30	H31	H32	H33
橋りょうの予防保全率の向上 (%)	4	4	17	21	29	33
道路照明の健全度の向上 (%)	0	37	67	100	100	100

### 5-03-02 河川・ダム

#### 5年後の目指す姿

- 市民の生命・財産を洪水から守るための河川・ダムが整備・管理され、市民が安心して暮らしています。

## 5-03 安全・安心な都市機能

### 現 状 と 課 題

- 留萌ダムや大和田遊水地が完成し大雨による洪水調整に大きく寄与しています。
- 留萌川河口部の改修を引き続き行っています。
- 普通河川の自然河道区間では、流路部の自然植生により出水時流下能力が不足している区間があります。

### 前 期 の 方 向 性

- 留萌川の整備促進の要望を国に行っています。
- 高砂・東雲排水機場の適切な稼働を行っています。
- 堤内及び周辺の土地利用状況を踏まえた河道維持を行っています。

### 数 値 目 標

※現状：H27

指 標 項 目	現状	H29	H30	H31	H32	H33
大雨時における溢水件数 (件)	0	0	0	0	0	0

## 5-03-03 防災活動拠点・行政機能

### 5 年後の目指す姿

- 行政機能のみならず、災害時における拠点でもある市庁舎の建替えまたは移転など今後の方向性が確認され、それに向けた準備を進めています。

### 現 状 と 課 題

- 本庁舎は、建築後 53 年の経過で躯体、外壁等に相当の老朽化が進んでおり、庁舎の耐震診断は実施していないが、同等の結果となる耐力度調査においては、「耐震性に疑問あり」との結果が出ています。
- 分庁舎についても、建築後 18 年を経過し、特に屋根・外壁の損傷が激しくなっています。
- 車庫を含めた庁舎は、毎年度、最低限の修繕で対応してきているが、庁舎維持、管理経費については、最小限にとどめている状況です。
- 継続的な行政機能の中核を担うほか、災害時の拠点としての役割を持つ市庁舎の整備計画は策定されていません。
- 平成 28 年 4 月の熊本地震において、自治体庁舎の耐震化が問題となっています。

### 前 期 の 方 向 性

- 継続的な行政機能の中心及び防災活動の拠点となる市役所庁舎の今後の在り方に関し(他の公共施設とのバランスを考慮しながら)、移転、改築、新築、建設位置、事業費など、協議・検討を進め、庁舎改築の基本方針等を策定していきます。

### 数 値 目 標

指 標 項 目	現状	H29	H30	H31	H32	H33
なし						